



令和5年度 早春の展示
博物館のおしごと展
令和6年1月19日(金) ▶ 3月20日(水・祝)



博物館と聞くと、どのような仕事をしていると思いますか？

「モノを展示する仕事」や「いろいろなことを調べる仕事」などがあると思います。

今回の早春の展示では、博物館の中でどのような仕事が行われているのか、実物の資料とともに、実際に使っている道具や作業中の写真などを使いながら紹介します。

展示の紹介は次のページへ ▶▶

博物館のおしごと

博物館は、主に「資料の収集」「資料の保管」「調査研究」「展示」「学習支援」という5つの分野の仕事を行っています。しかし、普段、博物館の中で行っているこれらの仕事はなかなか分かりにくいのが現状です。そこで、今回の早春の展示では、「博物館のおしごと展」と題して、普段は見ることができない裏側も含め、博物館の仕事を紹介します。

博物館の仕事をちょこっと紹介(資料収集編)

博物館の仕事の中から、資料の収集の仕事について紹介します。博物館で資料収集というと、どのようなものでも集めるようなイメージがあるかもしれませんが、実はそんなことはありません。それぞれの博物館には収集するための方針があります。当館では、「①草戸千軒町遺跡を理解するために必要な資料」、「②瀬戸内の民衆生活と交通・交易に関する資料」、「③広島県の歴史と文化に関する資料」、この3つの項目を中心に、塩業や備後表、備後紺などといった伝統的地場産業にも焦点を当てて収集を行っています。

博物館の仕事をちょこっと紹介(展示編)

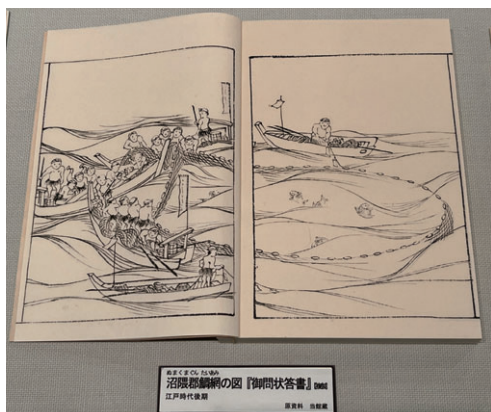
右の2枚のポスターの色の違いがわかりますか?上の写真は光があまり入らない部屋で保管していたもので、下の写真は展示が行われていた約2か月の間、屋外のケースで掲示していたものです。

光(特に紫外線)には、モノを変化させる力があります。右下のポスターのように、長期間光に当たり続けると変色などの劣化が起こります。これに対処するため、複製品(写真1)を展示したり、紫外線の出ない特殊な照明(写真2)を使ったりしています。

このように、資料を守り・残していくことも博物館の大事な仕事のひとつなのです。

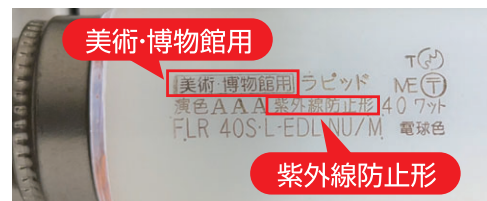


約2か月後



◀写真1
通史展示室の複製資料
「沼隈郡鯛網の図」
「風俗御問状答書」

▶写真2
博物館の蛍光灯



令和5年度 早春の展示 博物館のおしごと展

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日(ただし2月12日(月・祝)は開館)、2月6日(火)～9日(金)、2月13日(火)
- 入館料 / 一般290円(220円)、大学生210円(160円)、高校生まで及び65歳以上無料
※()は20名以上の団体料金

頼山陽史跡資料館

特集展

南画って何なん？

令和6年 1月13日(土)～2月18日(日)

RAI
S
A
N
Y
O
U



中国の南宗画（士大夫とよばれる官僚を中心とする知識人が描いた絵をいう）の影響を受けた、中国風の絵画を南画といいます。南画という言葉が広く使われるようになるのは、江戸時代末期のことといわれています。

画の中に詩があり、詩の中に画がある、というのが南画の理想であり、高い教養が求められます。近代になって求められる教養が変質していったため、次第に衰退していきませんが、絶滅したわけではありません。

本展では一見ただけでは分かりにくい南画について、その良さや面白さがどこにあるのか探っていきます。南画を楽しむための勘所（ツボ）を紹介しますので、是非御覧ください。

松下煮茗図 田近竹邨筆 個人蔵



【南画の勘所】

「画中の人物に注目」
南画には必ずと言っていいほど人物が描かれています。何をしているのでしょうか？

左の図では手前の人物が茶（煎茶）を煮ています。近くに川が流れています。どんなストーリーが思い浮かびますか？

- 会場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15) TEL:082-298-5051
 - 時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 - 休館日 / 月曜日(ただし祝休日は開館し、翌平日休館)
 - 入館料 / 一般200円(160円)、大学生150円(120円)、高校生まで及び65歳以上無料
- ※()は20名以上の団体料金



▲頼山陽史跡資料館 ホームページ

博物館 掲 示 板

日本の伝統的な遊びを楽しもう!

お正月だよ! こども博物館

令和6年
1月2日(火)・3日(水)
10:00 ~ 16:00

他にも
だるまおとし・お手玉
貝合わせ・けまり
があるよ!

参加無料・申込不要
※天候によって、内容を一部変更する場合があります。

休館情報 月曜日(1月8日、2月12日を除く)、12月28日(木)～1月1日(月・祝)、1月4日(木)、1月9日(火)、2月6日(火)～2月9日(金)、2月13日(火)

考古学講座



草戸千軒町遺跡調査研究所 開所50周年記念

■ テーマ / 中世都市遺跡

※いずれも午後2時～午後3時30分

| 回数 | 演 題 | 講 師 | 開 催 日 |
|-----|---|------------------------------|----------|
| 第1回 | 日本中世都市研究はどのように進められてきたか —草戸千軒町遺跡のインパクト— | 大阪公立大学大学院文学研究科 教授 仁木 宏 氏 | 1月20日(土) |
| 第2回 | 発掘調査で明らかになった 国際貿易都市・博多 | 福岡市埋蔵文化財課 主任文化財主事 大庭 康時 氏 | 2月17日(土) |
| 第3回 | 中世世界の考古学 | 堺市博物館 学芸員 海邊 博史 氏 | 3月2日(土) |

頼山陽史跡資料館 特集展関連行事

展示解説会

※入館料が必要になります。

■ 1月20日(土)、2月10日(土) ※いずれも午後1時30分～

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第138号

編集・発行

令和5年12月12日



ふくやま
草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
X(エックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ ホームページ



▲ X (Twitter)